

業 績 目 録（令和6年）

大学院科目名：総合医療・地域医療学

(A-a) 英文著書

なし

(A-b) 和文著書

なし

(B-a) 英文総説

なし

(B-b) 和文総説

なし

(C-a) 英文原著

1. Matsuoka T, Oya N, Narumoto J, Kitani-Morii F, Niwa F, Mizuno T, Akazawa K, Yamada K, Abe M, Takano H, Wakasugi N, Shima A, Sawamoto N, Ito H, Toda W, Hanakawa T. Reduced pineal volume may be associated with amyloid pathology and not with putative Lewy body pathology. J Neurol Neurosurg Psychiatry. 95(8):791-792. 2024. (IF=7.5)
2. Matsubara S, Sudo K, Kushimoto K, Yoshii R, Inoue K, Kinoshita M, Kooguchi K, Shikata S, Inaba T, Sawa T. Prediction of acute lung injury assessed by chest computed tomography, oxygen saturation/fraction of inspired oxygen ratio, and serum lactate dehydrogenase in patients with COVID-19. J Infect Chemother. 2024 May;30(5):406-416.

(C-b) 和文原著

1. 丹羽文俊. 臨床症状の時間経過をゴットの「事象の地平線」理論で考察する. 日病院総合診療医学会誌. 20(2):125-128, 2024.
2. 関本美穂, 満武巨裕. DPC 制度が病院間・二次医療圏間の患者シフトに与えた影響とその要因. 厚生指標 71 (11) 31-36, 2024.

(D) 学会発表等

I) 招待講演、特別講演、教育講演等

1. 四方哲. 地域医療のブレイクスルー. 日本プライマリ・ケア連合学会 京都府支部総会（京都市、招待講演）2024(令和6)年10月6日

2. 四方哲. 総合診療、地域医療とは何か. 日本眼科学会専門医制度第 80 回講習会（京都市、教育講演）2024(令和 6)年 11 月 14 日

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

1. 四方哲. 臨床研究の実践方法. 第 3 回日本地域医療学会学術集会. (富山、教育セッション、アドバイザー) 2024(令和 6)年 11 月 30 日

III) 国際学会における一般発表

なし

E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 0 万円

財団等からの助成

代表（総額）・小計 100 万円

1. 一般財団法人 日本漢方医学教育振興財団研究助成 令和 5～6 年度.
丹羽文俊. 漢方医学に関する診療や教育支援のための証・方剤選択アプリケーションツール開発. 助成金額 100 万円/年.